

普及現地情報

発信年月日：平成25年(2013年)12月9日
所 属 名：甲賀農産普及課
番 号：C13041
部門分類：199 その他作物
発信者名：竹若、川上

土山町茶業後継者が新商品「刈下ほうじ茶」の品質向上を図る

土山町農業後継者クラブ(以下「クラブ」)が、プロジェクト活動で開発した「刈下」を使ったほうじ茶の品質向上を図るため、11月23日に日吉大社の観光客を対象とした嗜好調査を実施しました。

刈下は、一番茶の摘採後に伸びてくる遅れ芽のことで、これまで番茶として出荷するために製造していましたが、手間がかかる割には単価が低く、収益が上がりにくかったため、昨年度、刈下を使用したほうじ茶を試作しましたが、ほうじ茶特有の風味、香りなどが不足しているという課題が残りました。

そこで今年度は、茶葉の火入れ時間と温度を段階的に変えて、3タイプの試作品を製造しました。すなわち、昨年と同程度の「マイルド」を基準に、それより火入れ時間を少し長くした「スタンダード」、焦げ香を感じる程度の極端に深い香りのする「ローストビター」の3タイプです。

当日は、出来あがった試作品を観光客約100人に飲み比べてもらい、感想を聞きました。その結果、「ローストビターは苦すぎ、マイルドはほうじ茶らしくない」という感想が多く出され。「スタンダードが一番おいしい」という反応をいただきました。

クラブでは、今後スタンダードで刈下ほうじ茶を生産し、各種イベントなどでPRする予定であり、当課は引き続き活動を支援します。



試作した3種類の「刈下ほうじ茶」



日吉大社での嗜好調査